



家畜の生産性を維持・向上する 暑熱対策に取り組みましょう！

今年も暑い夏がやってきます。暑熱により、採食量や受胎率の低下等が引き起こされ、家畜の生産性が損われることを防ぐためには、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりが大切です。

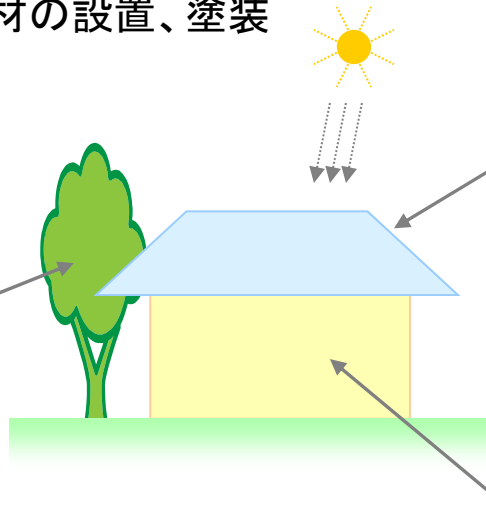
畜舎環境面から

○畜舎外から畜舎温度を下げる

- ・樹木や遮光ネット等の設置
- ・屋根・壁・床への断熱材の設置、塗装



ネットに植物を這わせる(兵庫県)



石灰の吹きつけ(宮崎県)

○畜舎内から畜舎温度を下げる

- ・換気扇や扇風機での送風
- ・家畜への直接送風・散水



換気扇による送風(福井県)

飼養管理面から

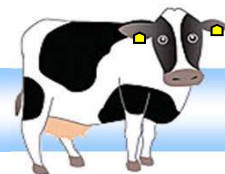
○密飼いを避けて、体感温度とイライラの低減

- ・毛刈りの実施(牛)

○飼料給与等の工夫

- ・冷たい水が十分に飲めるようにする
- ・涼しい時間帯に飼料給与するとともに、給与回数を増やす
- ・良質で消化率の高い飼料を与える
- ・必要に応じ、ビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う

対策を組み合わせると効果的。早めの措置で、暑い夏を乗り切りましょう。



畜舎環境、飼養管理における複合的な対策

取組の概要

地域名 : 新潟県
 経営形態 : 酪農
 飼養頭数 : 搾乳牛50頭

- 十分な飲水の確保→給水管を太くした
- 畜舎温度上昇の抑制
 - 井戸水を利用したスプリンクラー設置
 - トンネル換気の実施(牛舎壁面に換気扇設置)
- 採食量の維持
 - 1日6回に分けて配合飼料を少量ずつ給与(自動給餌機)
 - 盗食防止板の設置により飼料摂取量を適正にコントロール

効果

○夏期の乳量の向上

H20年8月は、前年同月に比較し、

日乳量が**0.4kg/頭**増加

○分娩間隔の短縮

19年 14.5ヶ月

→ 20年 13.9ヶ月 **0.6ヶ月短縮**

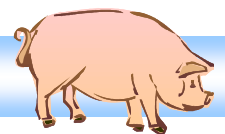


↑牛舎壁面の換気扇



↑牛舎屋根に設置したスプリンクラー

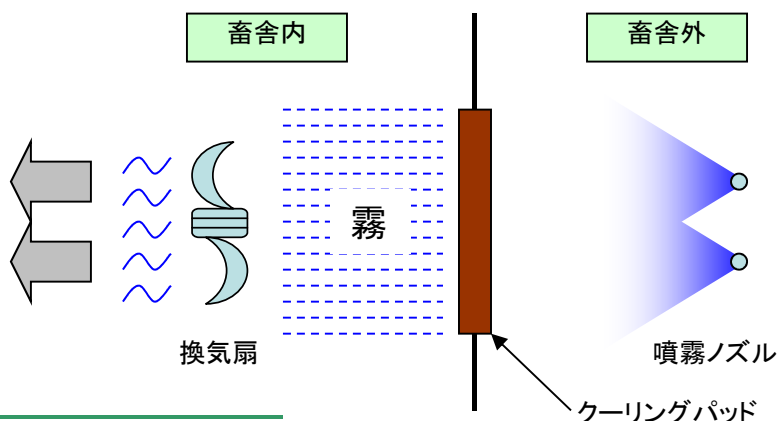
分娩豚舎へのクーリング・パッドの設置



取組の概要

地域名 : 愛知県
 経営形態 : 養豚
 飼養頭数 : 繁殖母豚350頭

- クーリング・パッドの外側に噴霧ノズルが付いており、畜舎内に設置した換気扇で、空気を吸引することによりパッドから抜けた霧が畜舎内に流入する(下図)。
- 噴霧ノズルは、12秒間噴射と7秒間停止を繰り返す。
- クーリング・パッドは29℃で作動するようにセットされ、作動時間は午前9時から午後6時まで。
- 畜舎中央に順送ファンを設置し、排気口まで風量を維持する工夫。



効果

- パッド作動時の**畜舎内温度**は、外気温と比較し、入気側・排気側とも**平均4℃低かった。**

牛舎屋根への石灰塗布



取組の概要

地域名 : 宮崎県
経営形態 : 肉用牛
飼養頭数 : 200頭



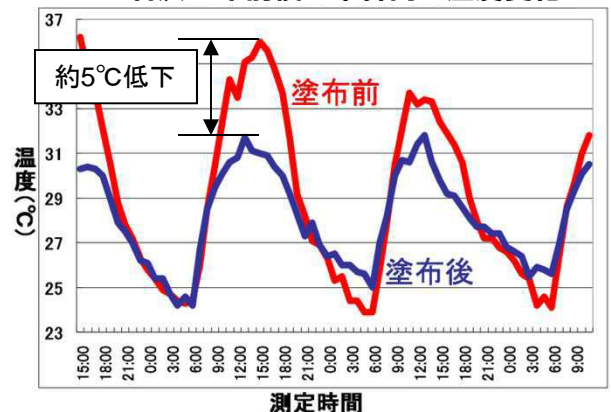
- 【塗布面積】 800m² (屋根材:ガルバリウム)
【作業人数】 5名
【材料】 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧機、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)
【塗布方法】 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧機にて屋根へ散布する。
【作業時間】 3時間(実質塗布時間:2時間)
【塗布面積あたりコスト】 33円/m²
【注意点】 ① 石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる。(電動ドリルで攪拌)
② 長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する。

効果

- 屋根裏温度の変化 約 15℃低下
- 牛舎内温度の変化 約 5℃低下

- ・夏場の採食量が増えた結果、枝肉重量が増加し、出荷成績の改善につながった。
- ・夏場の飼養管理がしやすくなった。

石灰塗布前後の牛舎内の温度変化



アカザを利用した鶏舎の庇蔭(ひいん)



取組の概要

地域名 : 群馬県
経営形態 : 採卵鶏
飼養羽数 : 4,500羽

- 自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植。
- アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易。
- 自生するアカザを用いるため、低コストで簡易。

【注意点】

鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。

効果

- 夏期の死亡羽数が激減
実施前(H19年)約700羽
→実施後(H20年)約40羽



経営相談窓口一覧

お問い合わせや相談はお近くの県畜産会等へお気軽に

東京都の方は中央畜産会までお問い合わせ下さい。

名称	電話番号	担当部署名
北海道酪農畜産協会	011-209-8555	経営支援部
青森県畜産協会	017-723-2775	草地経営部
岩手県畜産協会	019-694-1300	経営支援部
宮城県畜産協会	022-298-8473	経営支援課
	0220-21-1552	仙北事業所
	0229-34-3304	中央事業所
	0224-52-2523	仙南事業所
秋田県農業公社	018-884-5513	畜産経営部
山形県畜産協会	023-634-8108	経営支援課
福島県畜産振興協会	024-522-4222	経営・改良課
茨城県畜産協会	029-231-7501	指導部
栃木県畜産協会	028-664-3666	業務部 経営指導課
群馬県畜産協会	027-220-2365	経営支援部
埼玉県畜産会	048-536-5281	経営支援部
千葉県畜産協会	043-242-6333	企画経営部経営支援課
神奈川県畜産会	045-761-4191	経営指導部
新潟県畜産協会	025-234-6781	支援業務課
富山県畜産振興協会	076-451-0117	—
石川県畜産協会	076-258-2252	業務課
福井県畜産協会	0776-27-8228	—
山梨県畜産協会	055-222-4004	経営衛生指導課
長野県畜産会	026-228-8809	経営支援課
岐阜県畜産協会	058-273-9205	畜産指導部
静岡県畜産協会	054-274-0210	経営指導部
愛知県畜産協会	052-951-7477	経営指導課

名称	電話番号	担当部署名
三重県畜産協会	059-213-7512	経営指導課
滋賀県畜産振興協会	0748-33-4345	経営指導課
京都府畜産振興協会	075-681-4280	経営指導課
大阪府畜産会	06-6941-1351	経営指導部
兵庫県畜産協会	078-361-8141	経営支援部
奈良県畜産会	0742-23-4004	—
畜産協会わかやま	073-426-8133	支援業務係
鳥取県畜産推進機構	0857-21-2790	支援業務部
島根県畜産振興協会	0852-31-3609	経営指導部
岡山県畜産協会	086-222-8575	経営指導部
広島県畜産協会	082-244-1783	経営指導部
山口県畜産振興協会	083-973-2725	事業指導部
徳島県畜産協会	088-634-2680	企画総務課
香川県畜産協会	087-825-0284	企画管理部
愛媛県畜産協会	089-948-5365	企画振興部
高知県畜産会	088-883-8161	—
福岡県畜産協会	092-641-8723	経営指導部
佐賀県畜産協会	0952-24-7121	畜産経営支援部経営支援課
長崎県畜産協会	095-843-8825	経営指導課
熊本県畜産協会	096-365-8200	事業部経営支援課
大分県畜産協会	097-545-6593	業務部経営支援課
宮崎県畜産協会	0985-41-9303	経営支援部
鹿児島県畜産協会	099-258-5662	経営指導部
沖縄県畜産会	098-854-3480	総務課

社団法人 中央畜産会

東京都千代田区外神田2丁目16番2号（第2ディアーアイビル9階）

【リーフレットに関するお問い合わせ先】

TEL：03-6206-0844

FAX：03-5289-0890

URL：<http://jlia.lin.go.jp/>

E-mail:seisan@sec.lin.go.jp

このリーフレットは、（独）農畜産業振興機構補助事業（畜産業振興事業）により作成しています。

（監修 農林水産省）